

# 切り取り保存版！ 予防接種スケジュール

ワクチン名	接種済み ☑	0歳	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	1歳1か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	(満年齢)
<b>不活化ワクチン</b> B型肝炎 <b>任意</b>	<input type="checkbox"/>			①	②																							
<b>生ワクチン</b> ロタウイルス <b>任意</b>	<input type="checkbox"/>			1	2																							
<b>不活化ワクチン</b> ヒブ <b>定期</b>	<input type="checkbox"/>			①	②	③																						
<b>不活化ワクチン</b> 小児用肺炎球菌(13価) <b>定期</b>	<input type="checkbox"/>			①	②	③																						
<b>不活化ワクチン</b> 四種混合(DPT-IPV) 三種混合(DPT)・ポリオ(IPV単独) <b>定期</b>	<input type="checkbox"/>			①	②	③																						
<b>生ワクチン</b> BCG <b>定期</b>	<input type="checkbox"/>																											
<b>生ワクチン</b> MR (麻しん風しん混合) <b>定期</b>	<input type="checkbox"/>																											
<b>生ワクチン</b> おたふくかぜ <b>任意</b>	<input type="checkbox"/>																											
<b>生ワクチン</b> 水痘 (みずぼうそう) <b>定期</b>	<input type="checkbox"/>																											
<b>不活化ワクチン</b> 日本脳炎 <b>定期</b>	<input type="checkbox"/>																											
<b>不活化ワクチン</b> インフルエンザ <b>任意</b>	<input type="checkbox"/>																											
<b>不活化ワクチン</b> A型肝炎 <b>任意</b>	<input type="checkbox"/>																											
<b>不活化ワクチン</b> HPV (ヒトパピローマウイルス) <b>定期</b>	<input type="checkbox"/>																											

ロタウイルスワクチンには、1価ワクチンと5価ワクチンがあります。遅くとも生後14週6日までに接種を開始し、それぞれの必要接種回数を受けましょう。

ロタウイルス・ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合の必要接種回数を早期に完了するには、同時接種で受けることが重要です。

2013年10月までの7価ワクチンに含まれてない6価分の免疫をつけるために、7価の接種完了者も8週以上あけて13価ワクチンを1回接種(補助的追加接種:任意接種)

二種混合(DT): 11歳で追加接種(接種対象11-12歳)

個別接種の場合は四種混合などと同時接種で受けられます。

1歳の誕生日が来たら同時接種で受けましょう。MR・おたふくかぜ・水痘の同時接種は、ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合の追加接種の1週間後に受けることもできます。

幼稚園、保育園の年長の4月~6月がおすすめ

日本脳炎ワクチンと同時接種でも受けられます。

9歳で追加接種(接種対象9-12歳)

追加接種は、初回接種から3か月の間隔をあけて受けましょう。

毎年、10月から11月ごろに接種しましょう。

1歳から受けられます。1回目の2-4週後に2回目、その約半年後に3回目を接種します。

中学1年で接種開始(接種対象:小6から高1の女子) 2価と4価があり、ワクチンによってスケジュールが異なります。

**不活化ワクチン** 定期 定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)。

**生ワクチン** 任意 多くは有料(自己負担)。ワクチンによっては公費助成があります。任意接種ワクチンの必要性は定期接種ワクチンと変わりません。

**同時接種**: 同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。国や日本小児科学会も乳幼児の接種部位として大腿外側部も推奨しています。くわしくはかかりつけ医にご相談ください。

定期予防接種の対象年齢 おすすめの接種時期(数字は接種回数)

任意接種の接種できる年齢 ●次にほかの種類ワクチンが接種できるのは、不活化ワクチン接種後は1週間後の同じ曜日、生ワクチン接種後は4週間後の同じ曜日からです。

詳しい情報は <http://www.know-vpd.jp/>

NPO法人「VPDを知って、子どもを守ろうの会」が推奨するスケジュールは、最も早期に免疫をつけるための提案です。こちらを参考に、かかりつけ医とよく相談の上、スケジュールを立てましょう。